

空間デザイン史

選 択

開講年次：2 年次後期

科目区分：講 義

単 位：2 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：日本建築を中心として、日本・西洋・アジアと地域ごとに分け、各地域の時代を古代、中世、近世に分けながら通史として空間デザインの歴史的な成立と展開を概説する。日本と西洋、アジアにおける空間デザインの歴史を住宅に着目して、様式、地域、環境の視点から、その展開と系譜を概説し、日本の空間デザインの特質を明らかにする。また、北海道における空間デザインの歴史的な過程についても概説する。

■**到達目標**：①日本建築史、西洋建築史の流れを理解する。②東洋建築史、近代建築史の流れを理解する。③日本建築史、西洋建築史、東洋建築史、近代建築の流れと相関関係を理解する。

■**担当教員**：

羽深 久夫

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 日本の空間デザイン史 (1) 日本建築の起源
- 第 2 回 日本の空間デザイン史 (2) 古代 飛鳥建築 古代神社建築
- 第 3 回 日本の空間デザイン史 (3) 古代 奈良建築 都城制、南都六宗の寺院建築
- 第 4 回 日本の空間デザイン史 (4) 古代 平安建築 寝殿造
- 第 5 回 日本の空間デザイン史 (5) 中世 鎌倉建築 禅宗建築
- 第 6 回 日本の空間デザイン史 (6) 中世 室町建築 主殿造
- 第 7 回 日本の空間デザイン史 (7) 近世 安土桃山建築 城郭
- 第 8 回 日本の空間デザイン史 (8) 近世 江戸建築 書院造、数寄屋
- 第 9 回 日本の空間デザイン史 (9) 近代 都市独立住宅
- 第10回 西洋の空間デザイン史 (1) 古代 エジプト・オリエント・ギリシャ・ローマ建築
- 第11回 西洋の空間デザイン史 (2) 中世 ビザンチン・イスラム・ロマネスク・ゴシック建築
- 第12回 西洋の空間デザイン史 (3) 近世 ルネッサンス・バロック・ロココ・近代建築
- 第13回 アジアの空間デザイン史 (1) アジアの建築 韓国・中国・ネパール建築
- 第14回 アジアの空間デザイン史 (2) 小アジアの建築 アルメニア建築
- 第15回 北海道の空間デザイン史 北海道の建築

■**教科書**：『建築史』／桐敷真次郎（実教出版）1,300円

『日本建築史図集』／日本建築学会編（彰国社）2,415円

『西洋建築史図集』／日本建築学会編（彰国社）2,625円

■**参考文献**：『東洋建築史図集』／日本建築学会編（彰国社）3,255円

『近代建築史図集』／日本建築学会編（彰国社）2,415円

■**成績評価基準と方法**：定期試験（60%）、授業態度・発表（20%）、その他（20%）により総合的に評価する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験	◎	◎		用語を理解し、図を用いた説明ができること。	60
小テスト・授業内レポート					
授業態度	○	○	◎	授業での質問への返答	10
発表	○	○	◎	授業での質問への返答	10
課題・作品					
出席				2/3以上の出席	欠格条件
その他	○	○	◎	特別講義、公開講座への参加	20

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：デザイン史（1年次前期）

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：歴史は学の基盤となるもので、空間デザイン史の理解は空間デザイン教育の基礎となるものである。